



園長だより

はばたく小鳥

1月吉日

食が子どもの発達にもたらすもの

生まれてから幾度となく重ねていく、食事の時間。子どもたちが得ているものは栄養素とカロリーだけ？ いえいえ、人として生きていくために必要なあらゆる“栄養”を蓄えているのです。

言葉や社会性の発達

給食の時間は、友達とやり取りができるひととき。自分の思いを言葉にしたり、相手の話を聞いたりすることで、言葉の発達につながったり、人間関係を広げたりします。



自己肯定感や自立心を育む

苦手なものを少しでも食べられた体験が自信につながり、自己肯定感を育む。また、食べられる量を自分で決めることで、自立心が養われます。



身体の発達

十分なエネルギーや偏りのない栄養素を摂取することで、身体の成長を促すだけでなく、病気にかかりにくい健康な体をつくりま

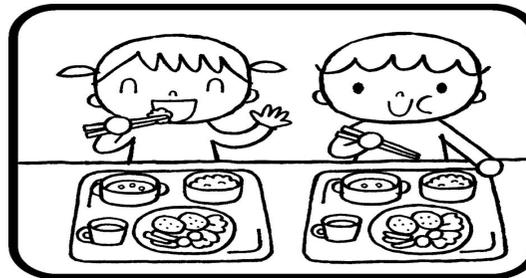


道徳性・規範意識の芽生え

日々の食事に感謝したり、食事のマナーを守ったりすることを学びます。



いただきます



手指の発達

スプーンや箸を使って食べることで、手指の巧緻性が高まります。



「楽しさ」こそ食べる意欲を育てます。幼稚園では、先生や友達と一緒にリラックスした食事時間をつくっていきたいと思います。